

シリーズ名：医学情報学

| 月日 | 曜日 | 時限 | 授業タイトル | 講義担当者 | | 授業終了後に説明できる事項 | 事前学習 |
|------|----|----|----------------|------------------|------------|---|-------------------------|
| | | | | 氏名 | 所属 | | |
| 4.12 | 木 | V | 情報リテラシーと医学研究 | 井上 永介 | 医学情報学 | 1. 医学情報の適切な利用について述べるができる。 2. 医学情報、臨床研究、統計学の関わりについて述べる ことができる。 | 配布資料を読んでおくこと。 |
| " | " | VI | 医学研究の枠組み | 上野 隆彦 | 医学情報学 | 1. 臨床疑問と研究疑問の違いを説明することができる。 2. 典型的な研究デザインについて述べるができる。 | " |
| 4.19 | " | V | 医学分野の大規模データ | 井上 永介 | 医学情報学 | 1. 医学分野の大規模データについて述べるができる。 2. 医学分野における大規模データの利用例について述べる ことができる。 | " |
| " | " | VI | 人工知能 | " | " | 1. 人工知能の定義を説明することができる。 2. 医学分野における人工知能の利用例について述べる ことができる。 | " |
| 4.26 | " | V | 標本調査と統計学 | " | " | 1. 調査の方法について述べるができる。 2. 標本調査に統計学が必要な理由を説明することが できる。 | " |
| " | " | VI | 確率分布と統計的推測 | " | " | 1. 確率分布が必要な理由を説明することができる。 2. 代表的な確率分布を説明することができる。 | " |
| 5.10 | " | V | 仮説検定(1) | 上野 隆彦 | 医学情報学 | 1. 仮説検定の枠組みを説明することができる。 2. t検定の原理を説明することができる。 | " |
| " | " | VI | 信頼区間 | " | " | 1. 信頼区間について説明することができる。 2. 仮説検定と信頼区間の関係を説明することができる。 | " |
| 5.17 | " | V | 多重比較(1) | 立浪 忍(客) | 医学情報学 | 1. 多重比較について説明することができる。 2. 多重比較への対処方法を説明することができる。 | " |
| " | " | VI | ノンパラメトリック手法(1) | " | " | 1. ノンパラメトリック手法が必要な理由を説明する ことができる。 2. 代表的なノンパラメトリック手法について説明 することができる。 | " |
| 5.24 | " | V | 記述統計とデータの視覚化 | 井上 永介 上野 隆彦 | 医学情報学 " | 1. 統計ソフトが必要な理由を述べることができる。 2. データの記述と視覚化を行う方法を説明することが できる。 | これまでの授業内容を復習 しておくこと。 |
| " | " | VI | 仮説検定(2) | 上野 隆彦 井上 永介 | 医学情報学 " | 1. 基本的検定を実データに適用する方法を説明する ことができる。 2. 検定結果の解釈方法を説明することができる。 | " |
| 5.31 | " | V | 多重比較(2) | 立浪 忍(客) 井上 永介 | 医学情報学 " | 1. 多重比較手法を実データに適用する方法を説明する ことができる。 2. 多重比較の結果解釈について説明することができる。 | " |
| " | " | VI | ノンパラメトリック手法(2) | 立浪 忍(客) 上野 隆彦 | 医学情報学 " | 1. ノンパラメトリック手法を実データに適用する 方法を説明することができる。 2. 手法の使い分けについて述べるができる。 | " |
| 6.7 | " | V | 相関と回帰(1) | 上野 隆彦 | 医学情報学 | 1. 相関係数について説明することができる。 2. 回帰モデルについて説明することができる。 | 配布資料を読んでおくこと。 |
| " | " | VI | 相関と回帰(2) | 上野 隆彦 井上 永介 | 医学情報学 " | 1. 相関係数の計算と回帰分析を実データに適用する 方法を説明することができる。 2. 回帰分析の結果解釈について説明することができる。 | " |

シリーズ名：医学情報学

| 月日 | 曜日 | 時限 | 授業タイトル | 講義担当者 | | 授業終了後に説明できる事項 | 事前学習 |
|------|----|----|-----------------|------------------|------------|--|---------------|
| | | | | 氏名 | 所属 | | |
| 6.21 | 木 | V | 重回帰モデル(1) | 上野 隆彦 | 医学情報学 | 1. 重回帰モデルについて説明することができる。 2. 重回帰モデルで交絡に対処できる理由を説明することができる。 | 配布資料を読んでおくこと。 |
| " | " | VI | 重回帰モデル(2) | 上野 隆彦 井上 永介 | 医学情報学 " | 1. 重回帰分析を実データに適用する方法を説明することができる。 2. 重回帰分析の結果解釈について説明することができる。 | " |
| 6.28 | " | V | 二値型データの解析(1) | 上野 隆彦 | 医学情報学 | 1. 割合と率、相対危険について説明することができる。 2. 分割表の解析方法を説明することができる。 | " |
| " | " | VI | 二値型データの解析(2) | 上野 隆彦 井上 永介 | 医学情報学 " | 1. カイ二乗検定を実データに適用する方法を説明することができる。 2. 相対危険の結果解釈について説明することができる。 | " |
| 7.5 | " | V | ロジスティック回帰モデル(1) | 立浪 忍(客) | 医学情報学 | 1. ロジスティック回帰モデルが必要な理由を説明することができる。 2. オッズ比の計算方法を説明することができる。 | " |
| " | " | VI | ロジスティック回帰モデル(2) | 立浪 忍(客) 井上 永介 | 医学情報学 " | 1. ロジスティック回帰分析を実データに適用する方法を説明することができる。 2. ロジスティック回帰分析の結果解釈について説明することができる。 | " |
| 7.12 | " | V | 生存時間関数(1) | 井上 永介 | 医学情報学 | 1. 生存時間型データとは何かを説明することができる。 2. 生存時間関数の推測方法を述べることができる。 | " |
| " | " | VI | 生存時間関数(2) | 井上 永介 上野 隆彦 | 医学情報学 " | 1. 生存時間関数を実データで推定する方法を説明することができる。 2. 生存時間関数を読み取る方法を説明することができる。 | " |
| 7.19 | " | V | Cox回帰モデル(1) | 井上 永介 | 医学情報学 | 1. Cox回帰モデルの枠組みについて述べることができる。 2. ハザード比の計算について説明することができる。 | " |
| " | " | VI | Cox回帰モデル(2) | 井上 永介 上野 隆彦 | 医学情報学 " | 1. Cox回帰分布を実データに適用する方法を説明することができる。 2. Cox回帰分析の結果解釈について説明することができる。 | " |
| 8.23 | " | V | メタアナリシス | 上野 隆彦 | 医学情報学 | 1. メタアナリシスが必要な理由を述べることができる。 2. メタアナリシスの結果解釈について説明することができる。 | " |
| " | " | VI | 医学文献の検索 | 井上 永介 上野 隆彦 | 医学情報学 " | 1. 医学文献データベースについて説明することができる。 2. 医学文献データベースの検索方法について説明することができる。 | " |
| 8.30 | " | V | データ解析の実際 | " | " | 1. データ解析を始める前に必要な準備を述べることができる。 2. 探索的データ解析について説明することができる。 | " |
| " | " | VI | 医学情報学総論 | 上野 隆彦 | 医学情報学 | 1. 医療現場へ最新の医学情報を取り入れる方法について述べることができる。 | " |